

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第99期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	三ツ星ベルト株式会社
【英訳名】	Mitsuboshi Belting Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 垣内 一
【本店の所在の場所】	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号
【電話番号】	(078)671-5071（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員財務部長 増田 健吉
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋2丁目3番4号 当社東京本社
【電話番号】	(03)5202-2500（代表）
【事務連絡者氏名】	東京本社 東京総務統括部長 榎園 治 親
【縦覧に供する場所】	三ツ星ベルト株式会社東京本社 （東京都中央区日本橋2丁目3番4号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第98期 第1四半期 連結累計期間	第99期 第1四半期 連結累計期間	第98期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	13,347	15,337	55,581
経常利益 (百万円)	1,317	1,791	5,992
四半期(当期)純利益 (百万円)	853	1,136	3,735
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,017	2,293	6,263
純資産額 (百万円)	40,381	47,322	44,146
総資産額 (百万円)	69,556	76,199	72,790
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	12.76	17.59	57.06
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	58.1	62.1	60.6

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府と日銀の脱デフレ政策への期待から、調整局面での反動があったものの円安と株高が進行し、個人消費が持ち直すとともに、輸出の拡大によって、景気は持ち直しつつあると見られています。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高153億37百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益13億37百万円（前年同期比9.4%減）、経常利益17億91百万円（前年同期比36.0%増）、四半期純利益11億36百万円（前年同期比33.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、昨年実施されたエコカー補助金の反動による国内新車市場の落ち込みに加え、補修用需要の低下により、売上高が減少しました。

一般産業用ベルトは前年同期並みにとどまりましたが、運搬ベルトでは積極的に新製品を投入したこと、また、合成樹脂素材では設備向けの需要が復調したことによって、いずれも売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は62億57百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は14億47百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

#### 〔海外ベルト事業〕

米国では、自動車用ベルトと一般産業用ベルトの売上高が現地通貨ベースではいずれも前年同期並みにとどまりましたが、欧州では、景気低迷の中、新規市場での農業機械用ベルトの拡販活動により一般産業用ベルトが伸長するとともに、自動車用ベルトの売上高も増加しました。

また、アジアでは、中国やインドネシアを中心に一般産業用・自動車用・OA機器用ベルトがいずれも増加しました。

当事業全体の売上高は現地通貨ベースで10%台後半の伸びとなった上に、為替レートが前年同期と比較し円安になったことにより、邦貨ベースでは大幅な増加となりました。

その結果、当事業の売上高は72億20百万円（前年同期比46.0%増）、営業利益は4億54百万円（前年同期比109.0%増）となりました。

#### 〔建設資材事業〕

建築部門は業界全体では公共・民間投資が増加しているものの、建築・防水材料の需要拡大にはいまだ結びついていないことから、売上高が減少しました。

また、土木部門では前年同期に比べ大型物件が少なかったことから、売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は9億5百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益は4百万円（前年同期比76.2%減）となりました。

〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は9億53百万円（前年同期比12.4%減）、営業利益は1億10百万円（前年同期比214.3%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、5億16百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	325,213,000
計	325,213,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	71,208,397	71,208,397	東京証券取引所 市場第1部	単元株式数は1,000株 であります。
計	71,208,397	71,208,397	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日 ～平成25年6月30日	-	71,208	-	8,150	-	2,037

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年3月31日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,589,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,285,000	64,285	-
単元未満株式	普通株式 334,397	-	一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	71,208,397	-	-
総株主の議決権	-	64,285	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式433株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 三ツ星ベルト(株)	神戸市長田区浜添通 4丁目1番21号	6,589,000	-	6,589,000	9.25
計	-	6,589,000	-	6,589,000	9.25

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,875	15,007
受取手形及び売掛金	12,808	12,957
商品及び製品	9,543	10,220
仕掛品	1,389	1,569
原材料及び貯蔵品	2,488	2,088
その他	1,110	1,467
貸倒引当金	80	79
流動資産合計	42,135	43,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,960	6,980
機械装置及び運搬具（純額）	7,057	7,195
工具、器具及び備品（純額）	1,439	1,422
土地	4,184	4,249
建設仮勘定	1,166	1,951
有形固定資産合計	20,808	21,800
無形固定資産	76	76
投資その他の資産		
投資有価証券	9,473	10,794
その他	321	322
貸倒引当金	24	24
投資その他の資産合計	9,770	11,092
固定資産合計	30,655	32,968
資産合計	72,790	76,199



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,723	6,568
短期借入金	7,392	7,530
未払法人税等	864	433
賞与引当金	418	1,135
その他	3,105	4,082
流動負債合計	19,505	19,749
固定負債		
長期借入金	4,917	4,376
退職給付引当金	404	517
役員退職慰労引当金	25	18
その他	3,792	4,214
固定負債合計	9,139	9,126
負債合計	28,644	28,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	5,480	5,480
利益剰余金	31,917	32,575
自己株式	3,410	3,411
株主資本合計	42,138	42,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,650	5,477
為替換算調整勘定	2,642	949
その他の包括利益累計額合計	2,008	4,527
純資産合計	44,146	47,322
負債純資産合計	72,790	76,199

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	13,347	15,337
売上原価	9,085	10,912
売上総利益	4,262	4,424
販売費及び一般管理費	2,785	3,087
営業利益	1,476	1,337
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	95	116
為替差益	-	309
その他	71	131
営業外収益合計	177	569
営業外費用		
支払利息	44	36
為替差損	190	-
その他	101	79
営業外費用合計	336	115
経常利益	1,317	1,791
税金等調整前四半期純利益	1,317	1,791
法人税等	464	655
少数株主損益調整前四半期純利益	853	1,136
四半期純利益	853	1,136

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	853	1,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	579	806
為替換算調整勘定	743	350
その他の包括利益合計	164	1,156
四半期包括利益	1,017	2,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,017	2,293
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	当第1四半期連結会計期間より、エム オー アイ テック プライベート リミテッドについては、ミツボシ オーバーシーズ ヘッドクォーターズ プライベート リミテッドと合併したため、連結の範囲から除外しております。
(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更	従来、連結子会社のうちミツボシ ベルティング インディア プライベート リミテッドを除く23社については、決算日が12月31日であったため同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外した1社を除く22社のうち20社は決算日を3月31日に変更し、中国にある子会社2社については3月31日に仮決算を行うこととしました。 この変更により、当第1四半期連結会計期間は、平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3カ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3カ月間の損益については、利益剰余金に直接計上しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でありましたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	544百万円	480百万円
支払手形	38	28

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	683百万円	725百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	534	8	平成24年3月31日	平成24年6月29日

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	452	7	平成25年3月31日	平成25年6月28日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,212	4,945	1,101	12,260	1,087	13,347	-	13,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,991	709	-	2,701	332	3,033	3,033	-
計	8,204	5,655	1,101	14,961	1,420	16,381	3,033	13,347
セグメント利益	1,684	217	20	1,922	35	1,957	480	1,476

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 480百万円には、セグメント間取引消去151百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 632百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,257	7,220	905	14,384	953	15,337	-	15,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,695	751	-	2,447	1,124	3,571	3,571	-
計	7,952	7,972	905	16,831	2,077	18,908	3,571	15,337
セグメント利益	1,447	454	4	1,906	110	2,017	679	1,337

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 679百万円には、セグメント間取引消去 48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 631百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円76銭	17円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	853	1,136
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	853	1,136
普通株式の期中平均株式数(千株)	66,868	64,618

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 9日

三ツ星ベルト株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	岡	本	高	郎	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	石	田	博	信	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三ツ星ベルト株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三ツ星ベルト株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。